

# 授業科目 社会調査

【担当教員名】 阿部 春江	対象学年	3	対象学科	社会
	開講時期	後期	必修選択	必修
	単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	○
【概要・一般目標：GI0】 社会調査の意義と方法および相談援助における社会調査の意義について理解する。調査設計の手法や分析方法および調査結果の活用方法を習得する。				
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 調査の意義並びに歴史、社会調査が果たしてきた役割について説明できる。 2. 社会調査の実施に向けた調査設計と分析を実施できる。 3. 社会調査の倫理について述べるができる。 4. 社会調査の実施にあたっての IT の活用方法について概説できる。				
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員	
1	オリエンテーション	1	講義	
2	社会福祉と社会調査 1（実践の学としての社会福祉）	1	講義（教科書第1章第1節）	
3	社会福祉と社会調査 2（社会福祉と社会調査）	1	講義（教科書第1章第2節）	
4	社会調査の概要（社会調査の意義と目的、対象と方法等）	1	講義（教科書第2章）	
5	量的調査 1（量的調査の特徴と種類、調査票の作成方法と留意点）	2	講義（教科書第3章第1・2節）	
6	量的調査 2（調査票の配布と回収、データ解析）	2	講義（教科書第3章第3・4節）	
7	量的調査 3（量的調査におけるデータ解析）	2	講義（教科書第3章第4節）	
8	質的調査 1（質的調査の特徴と種類、調査設計）	2	講義（教科書第4章第1・2節）	
9	質的調査 2（対象者の選定と調査手続、調査手法、調査の実施等）	2	講義（教科書第4章第3・4・5節）	
10	質的調査 3（質的調査におけるデータの分析等）	2	講義（教科書第4章第6・7節）	
11	社会調査における倫理と個人情報（研究者の倫理、個人情報保護と情報の管理）	3	講義（教科書第5章）	
12	社会調査の実施にあたっての IT の活用方法（データの集積、IT の活用と方法等）	4	講義（教科書第6・7章）	
13	社会調査の実際 1（調査設計）	2	作成	
14	社会調査の実際 2（調査の企画）	2	作成	
15	まとめ			
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	『新・社会福祉士養成講座 5 社会調査の基礎』	天田城介ほか	中央法規出版	2010・2,200円・最新版
参考書	『社会調査の基礎』	石田路子	久美	2009・1,700円
	『社会調査の基礎』	瀬谷有二ほか	ミネルヴァ書房	2010・2,730円
その他の資料				
【評価方法】 定期試験 50%、出席率並びに授業態度 50%で総合評価する。		【履修上の留意点】 欠席の場合は、教科書で当該科目について各自自習をした上で授業にのぞんでもらいたい。 私語は謹んでいただきたい。		